

2023 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード：AA0177

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	「津軽とつながる、津軽をつなげる奥津軽 FS ——くらすこと、うつること、まもること」
担 当 者	竹本 研史、佐伯 英子
実 施 時 期	2025 年 2 月 13 日 (木) から 2 月 16 日 (日) まで
実 施 場 所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市
協 力 機 関	企業組合「でる・そーれ」ほか
募 集 人 員	15 名
学 習 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」を中心とした六次産業化、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ ・奥津軽の観光や地域の暮らしについて、現地の方々、とくに女性の方々から学ぶ ・奥津軽を例に、地方移住について考える
行 程	<p>1 日目：【13:30 集合】 (五所川原市中心部)「立佞武多の館」で見学、紙貼り農家民泊 (「あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会」)</p> <p>2 日目：「あおもり五所川原グリーン・ツーリズム協議会」合同研修会 (中泊町)「イネ子の畑から」において「冬の農業」を学ぶ (五所川原市金木地区)「斜陽館」・「旧津島家新座敷」など太宰治を中心とした観光を学ぶ 津軽鉄道ストーブ列車で五所川原市中心部へ、「でる・そーれ」で、コミュニティカフェや「津軽ごぎん刺し」に関する講演+「うちごはん」</p> <p>3 日目：(板柳町)「板柳町ふるさとセンター」でりんごの生産と六次産業の学習・体験 (つがる市)「つがる地球村」で「つがる地域おこし協力隊」の方による講演、WS</p> <p>4 日目：(つがる市)「古民家風丸」にて「合同会社津軽の暮らしラボ」の方々による若手移住者の地域移住やグリーン・ツーリズムに関する講演・交流 (五所川原市中心部)「でる・そーれ」で 4 日間のふりかえり 【14:00 ごろ解散】</p> <p>宿泊先：ホテルサンルート五所川原 (2 日目)【〒037-0053 青森県五所川原市布屋町 25】ほか</p> <p>現地までの交通：利用する公共交通機関は任意とするが、初日と最終日は東北新幹線 (+在来線もしくは路線バス) 利用を前提とする。</p> <p>*上記は 2023 年度 II 期実施の内容をベースにしており、本年度については一部内容を変更する予定である。</p>
現地訪問の際の安全対策	大学と現地訪問先のマニュアルに従う

費用	約 46,000 円 (3泊の宿泊費・食費・プログラム参加費を含む) 現地までの往復交通費は、新幹線・学割適用で約 30,000 - 32,000 円の見込み
奨励金の カテゴリー (予定)	D : 4,500 円
選考基準	志望調査票の内容に基づき選考 (応募人数が多い場合はさらに面接を実施)
事前・事後 学習の予定	【事前学習】顔合わせ、直前ミーティングも含めて、4、5回 (11-2月の平日6限に実施) + 現地訪問前に中間レポートを提出 【事後学習】2回 (2-4月の平日6限に実施。2回目の事後学習は最終レポート提出後)
注意事項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。
中止の場合の 代替措置	現地とオンラインで繋いでの学習 + 各自でテーマを設定した上での調べ学習 (レポート提出)
評価方法	事前・事後学習および本番での参加姿勢 + 中間・最終レポートの内容により総合的に評価